



『楽しい』から強くなる、それが、『巨摩スタイル』。



第68回 山梨県高校総合体育大会

総体でも大活躍！ コレが巨摩スタイルの実力!!

【陸上】男子個人三冠を達成！ 3年 勝俣 雄登(榊形中学出身)
【陸上】女子個人二冠を達成！ 1年 三吉 南緒(榊形中学出身)

団体種目でも巨摩高パワーを発揮！

- ホッケー女子…優勝【関東大会出場】
- 陸上男子…3位
- バドミントン男子…4位

■ 団体の部

● ホッケー(女子)	優勝	● 陸上(男子)	3位
● 陸上(女子)	5位	● バドミントン(男子)	4位
● 弓道部(男子)	8位	● 弓道部(女子)	6位
● 卓球部(女子)	6位	● バレーボール部(女子)	7位
● 剣道部(男子)	8位		

■ 個人の部(陸上)

● 男子110mハードル	1位	勝俣 雄登	関東大会出場
● 男子400mハードル	2位	山本 武	関東大会出場
● 男子4×400mリレー	5位	飯野 峻太 勝俣 雄登 小林 達彦 古屋 有留人	関東大会出場
● 男子走高跳	2位	市川 翔太	関東大会出場
● 男子棒高跳	1位	水上 雄也	関東大会出場
	3位	坂巻 佑都	関東大会出場
● 男子三段跳	5位	丹澤 寛太	関東大会出場
● 男子砲丸投	5位	塚原 響	関東大会出場
● 男子ハンマー投	1位	勝俣 雄登	関東大会出場
● 男子やり投	3位	市川 翔太	関東大会出場
● 男子八種競技	1位	勝俣 雄登	関東大会出場
	2位	市川 翔太	関東大会出場
	6位	深澤 広大	
● 女子100m	6位	相原 咲良	関東大会出場
● 女子100mハードル	1位	三吉 南緒	関東大会出場
	3位	名執 奏波	関東大会出場
	4位	相原 咲良	関東大会出場
● 女子400mハードル	4位	名執 奏波	関東大会出場
● 女子4×100mリレー	3位	赤沢 広美 石川 幸歩 相原 咲良 三吉 南緒	関東大会出場
● 女子4×400mリレー	5位	相原 咲良 名執 奏波 野田 穂乃花 石川 幸歩	関東大会出場
● 女子走高跳	5位	石川 幸歩	
● 女子走高跳	4位	野田 穂乃花	関東大会出場
● 女子七種競技	1位	三吉 南緒	関東大会出場
	3位	赤沢 広美	関東大会出場



陸上部 男子部長
勝俣 雄登(榊形中学出身)

私は総体の個人種目で三冠を獲ることを目標に日々練習をしてきました。この目標を達成できたのは、初日の全校応援があったからこそだと思っています。関東大会では、八種競技で巨摩高記録を出して、岡山インターハイへの切符を獲得できるように頑張ります。

ホッケー部 部長
矢崎 花歩(白根御勅使中学出身)

私達は総体で優勝し、関東大会の出場権を得ることができました。この大会は、インターハイ出場権を獲得するための大切な大会です。あと一ヶ月を切り、焦りもありますが、一日一日を大切に、勝つことを考えて頑張ります。そして部員18名全員でインターハイへの切符を掴みます。

バドミントン部(男子) 部長
杉山 大征(飯沢中学出身)

関東大会予選ではあと一歩のところまで日大明誠に惜敗しましたが、総体では雪辱を果たすことができ、ベスト4まで上り詰めることができました。不断の努力が実を結んだと感じました。初心者も歓迎しますので、入部をお願いします。



MAGIC OF MUSIC

演奏だけでなく、楽器操作や演出など自分たちの活動にも活かしていきたいです(中学生)

やっぱり音楽っていいなと改めて思いました(高校生)

吹奏楽部 定期演奏会開催

5月15日、南アルプス桃源文化会館において、第52回吹奏楽部定期演奏会が開かれました。校歌で始まり、吹奏楽の魅力が堪能できる楽曲から、ポップス・スタンダードナンバーまで多彩な楽曲で日頃の練習の成果を披露しました。巧みな構成、演出もあり、まさにMAGIC OF MUSIC、「魅力(magic)溢れる音楽の魔法(magic)」、にかかったような2時間でした。

「校歌」を語る
「まね先生」

巨摩高生が歌っている校歌ニヤンだけど、ケッコウ深いヨ。
おどおど言おうと、「一番は「平和の虹を懸けよ」、二番は「真理の灯しかざさばや」、三番は「文化の華をならばばや」という、学芸この究極の目的にたどり着くために、それだけ「進修実践」「切磋琢磨」「温故知新」の心構えが必要だと語ってるんだニヤア。

作詞の大木博夫先生は、「大地讃頌」の作詞者ニヤンだけど、やっぱりすごいニヤア。

初めの「白根の山の青雲」は「青雲の志」のことで、「平和の虹を懸けよ」という高い志を持ちながら学ぼうと言っているんだニヤア。

でも、ただ学ぶだけではダメで、「実践」に通じていかないと、澄んだ「善き心」を通して「実践」に通じていかないと、ただ実践するんじやなくて、一人ひとりにある「善き心」で主体的に判断しニヤアから実践する。ウー、ム、深いニヤア。

これは「陽明学」やソクラテスの言う「知行合一」という考え方で、主体性を重視する「巨摩スタイル」にも通じる考えなんだニヤア。

ところで、最初にある三つの四字熟語が歌詞のどこに隠れているかわかるかニヤア? 「温故知新」がちよっと難しいかも知れないニヤア。新設した職員室の質問コーナーで質問しよう。

一 白根の山の 青雲をのぞみて高く 学ぶなり
水晶と澄みゆく 善き心
実践に うつつしてゆかむ
ああわれら 巨摩のはらから
美はしく のびらかに
平和の虹を 懸けよかな

二 滝沢川の 礫石
つひて絶えず 磨くなり
おのづかふるる よき智慧は
天日の 光に映えむ
ああわれら 深き学び
たくましく すやかに
真理の灯し かざさばや

三 桜の花の 下蔭を
したひて清く 誇るなり
湧きて流るる 泉より
創造の力を 掴まむ
ああわれら 甲斐の若うど
つつましく ほがらかに
文化の華を ならばばや

山梨大学高大連携講座 「スーパーサイエンス・理工学の世界」始まる

5月14日、本校物理講義室において、山梨大学工学部先端材料理工学科准教授 佐藤哲也先生をお招きして「宇宙に学ぶ新エネルギー材料創生」と題する講座が開かれました。
1年理科コース生徒たちは、宇宙線とは何か、プラズマとは何かを霧箱実験やラジウムボール観察などを通して学びました。また、プラズマを利用してエネルギー・環境問題を解決するための方法や、次世代型太陽電池の製造法についての解説を受け、未来に思いをさせていました。この講座は毎回内容を変えて全9回開催予定です。

